

認知症作業療法 活動報告（概要）

京都府作業療法士会では、社会貢献局に位置付けられる認知症支援推進部を中心として、府民に対する認知症支援を軸とした直接的な社会貢献事業や、府内の作業療法士への教育研修事業等に取り組んでいる。

認知症カフェ支援に関する京都府からの受託事業（2018年度～2024年度末）

2024年度は、京都府からの委託事業として「本人の活動を重視する認知症カフェ開催支援事業」を実施し、2025年3月末をもって終了した。これまでの取り組みが一定の評価を受けたことから、今後は形を変えて京都府と連携した認知症支援が期待されている。今年度は、府内3カ所の認知症カフェに対し延べ31回の支援を実施し、派遣された作業療法士は延べ38名にのぼった。活動においては、作業療法士がカフェ運営者と運営目的の合意形成を図るとともに、他の認知症カフェや行政機関、地域包括支援センター、そして地域の作業療法士との繋ぎ役を担うことができた。また、支援の質を高めるために京都府作業療法士会として年間10回の会議を開催し、会員間の情報共有と連携を図った。

認知症関連の研修会を実施

- ・近畿2府4県の認知症の人と家族の会の各支部および各作業療法士会の交流会を開催し、認知症当事者と家族の講演を京都から発信。
- ・認知症当事者とその家族の言葉から、支援の大切さとそれに答えていく支援者側の学びを主とした、講演と質疑応答形式での研修を一般社団法人京都精神保健福祉協会との共催で開催。

認知症カフェの運営協力

受託事業に先行し、2013年より認知症カフェ運営に協力。2024年度は受託事業とは別に2カ所、計20回程度の、延べ25名程度を派遣（オンライン含む）。2025年度も継続中。また、カフェに興味のある作業療法士をカフェに繋ぐ活動を継続している。

各種連絡会・協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されている団体へ派遣を継続中。

京都認知症カフェ連絡会への関与

世話人1名を派遣。2023年6月からは連絡会事務局を京都府作業療法士会の事務所に定め、認知症支援推進部が継続支援中。

(公社)認知症の人と家族の会京都府支部との連携

2024年度から世話人1名を派遣。「つどい」「世話人会」「研修会」への参画を継続中。連携活動を通して、作業療法士の役割をアピールしている。

2024年度の振り返りと今後

2024年度も認知症当事者や家族の思いを中心に、誰もが自分ごとと捉えられるような認知症の疾病感が広まればと願い取り組んだ。2025年も継続して当事者の視点を重視し、そのためにも取り組みの報告にも尽力していきたいと考えている。